

県図なう。

鹿児島県立図書館の“今（ナウ）”をお知らせし、図書館と利用者をつなぐ情報紙です。

鹿児島県立図書館

平成31年1月15日 発行

第94号（毎月15日発行）

http://www.library.pref.kagoshima.jp

Tel: 099-224-9511

ホットニュース 「方言ライブラリー」について

県立図書館の2階閲覧室の奥に「方言ライブラリー」があります。鹿児島県内各地の方言の保存と利用のための整備を図るために、昭和62年5月に開設されました。

当館では昭和46年から60年代にかけて、各市町村の協力を得ながら県内各地の方言をカセットテープに採録しました。「方言ライブラリー」には、方言を収録したカセットテープ（165巻）・CD（142枚）と、方言を文字化した対訳本（121冊）等があります。

カセットテープやCDには、伝説や昔話、日常会話、小さい頃の思い出話等を収録しています。

鹿児島県は平成29年に、11月の第3週を「鹿児島県方言週間」に決めました。当館でも、各市町村の方言に係る資料の収集に努めています。

また、奄美群島においては、平成19年に、大島地区文化協会連絡協議会によって2月18日を方言の日と定めています。2・18が「ふとうば」（※奄美の方言で「ことば」を意味する）と読めることに由来しています。

ユネスコが平成21年に、日本において消滅の危機にある言語・方言の一つとして、奄美語（奄美方言）を認定しました。今後ますます方言の重要性が高まると考えられます。方言についての理解を深め、方言という文化を継承していくために、多くの皆様に方言ライブラリーを活用していただきたいです。



「方言ライブラリー」コーナー

図書館で探そう、調べよう!

「寒い日が続きますが、ふと夜空を見上げてみますとたくさんの星。冬は一年中で最も星がきれいな季節と言われます。それはどうしてでしょう。1つ目に空気中の水蒸気が少なく空気が澄んでいること、2つ目に明るい1等星が多くみられること、3つ目にはオリオン大星雲やすばるなど肉眼でも見える星雲や星団があることなどが考えられます。



そんな冬の星空で気になるのが「オリオン座」のベテルギウス。「星座の『右肩』にあたる赤い1等星。この星が爆発によって消えてしまうのではないかとされているのです。これまでおなじみの形で見られた星座が少し見つけにくくなってしまわないかと感じるとともに夜空も日々変化しているのだと感じてしまいます。図書館にも下に掲げるような星に関する本を用意しています。どうぞ星空を眺めながら読んでみてください。

『よむプラネタリウム冬の星空案内』
野崎陽子/文 アリス館

『星が「死ぬ」とはどういうことか』
田中雅臣/著 ベレ出版

新着図書案内

《一般書》1月11日（金）

- 『かごんま お天気百話』 亀田晃一/著 梓書院
- 『動物園巡礼』 木下直之/著 東京大学出版会
- 『ばあばの100年レシピ』
鈴木登紀子/著 文化学園文化出版局
- 『宮部みゆき全一冊』 宮部みゆき/著 新潮社
- 『おばちゃん介護道』 山口恵以子/著 大和出版

《児童書》1月23日（水）

- 『ゆうなとスティービー』
堀米薫/作 丸山ゆき/絵 ポプラ社
- 『おばあちゃんのはこぶね』 M.B.ゴフスタイン/作・絵
谷川俊太郎/訳 現代企画室
- 『くろいの』 田中清代/著 偕成社
- 『保育と絵本』 瀧薫/著 エイデル研究所
- 『ぐるぐるの図書館』 工藤純子ほか/著 講談社

催し物の御案内

- 一般閲覧室ミニ展示
12月18日(火)～2月28日(木)
「ロンドン・カムデン区及びマンチェスター市との友好協定締結に関連した展示」

- 児童文化室ミニ展示
12月7日(金)～1月22日(火)
「和の心を育てよう」
伝統工芸や日本の文化に関する本の紹介
1月23日(水)～2月22日(金)
「歴史上の偉人に学ぼう」～明治維新150周年～
伝記や偉人に関する本の紹介
問合せ先：奉仕課調査相談係 TEL099-224-9513
- 貴重資料紹介展示 明治維新150周年Ⅱ
12月18日(火)～2月28日(木)
「西郷に魅せられた人々」～錦絵で西南戦争を歩く～
問合せ先：資料課 TEL099-224-9515

図書館職員のつぶやき

図書館では、毎月テーマに沿って本の展示を行っている「ミニ展示」のコーナーがあります。昨年は明治維新150周年ということもあり、それに関連した展示が多い1年でした。

このほか、そのテーマや季節に沿った本を紹介しているミニコーナーが閲覧室の随所にあります。今年度一番人気があったのが「名言・名句に学ぶ」のコーナーです。歴史上の偉人から文学者、政財界の有名人、スポーツ選手まで、幅広い分野の名言名句の本を紹介しています。このコーナーの本は、毎日必ず閲覧・貸出されており、追加の本を並べることが担当者の日課のようになっているほどです。予想していた以上に多くの方が興味を持たれているのだと感じました。

今年も利用者の皆さまが、本からたくさんの言葉のシャワーを浴びて、心豊かな1年となりますように……。



県立図書館に届いた『宝本エピソード』

今回の宝本は、バージニア・リー・バートン/文・絵 石井桃子/訳の『ちいさいおうち』（岩波書店）です。

『ちいさいおうち』は、わたしが生まれる前から家にありました。どうしてかということ、お母さんが大すきな本だからです。お母さんは小学二年のとき、学校の図書室でこの本を読んで、何度も何度も読んだそうです。わたしにもすきになってほしくて、寝る前に読み聞かせをしてくれました。わたしは表紙の「ちいさいおうち」がわらっているように見えるのが大すきです。



図書館クイズ

世界の昔話『シンデレラ』からのクイズです。

シンデレラは、ぶとうかいになにでできたばしゅででかけたかな？

- ①かぼちゃ ②りんご ③すいか



ヒント
にものになるとおいしいね

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、2月14日(木)までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。
前回の答えは「③はいろいろおかみ」でした。たくさんの御応募ありがとうございました。



図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
1月	13	14	15	16	17	18	19◆
	20	21	22	23★	24	25	26
	27	28	29	30★	31◇		
2月						1	2
	3	4	5	6★	7	8	9
	10	11	12	13★	14	15◇	16◆

○ 開館時間 火曜日～土曜日：9時～21時

※ 児童文化室は19時まで

日曜日・祝日(白猿)：9時～17時

○ は、学習室のみ開室：9時～17時

■ は、休館日。

★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日 15時30分～16時)。

◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日 14時～)。

◇ は、一般閲覧室新着図書の日(1月31日、2月15日【予定】)。

□ は、児童文化室新着図書の日(1月23日)。

